



# 千代小だより

6月号 第3号  
令和7年5月30日



<http://www.kawachinagano.ed.jp/chiyosho/>

木々の緑がいつそう深まってまいりました。早いものでもう6月です。1学期の半分が過ぎました。5月の連休明けから、スポーツテストや1～3年生の大阪・関西万博への遠足、4年生の大阪城への遠足、芸術鑑賞、避難訓練、内科健診、眼科・耳鼻科検診…とたくさんの行事がありました。子どもたちは、それぞれの学年での学習や取り組みの中で日々成長しています。

これから梅雨の季節となり、雨の日が多くなります。子どもにとっては、外で遊ぶべし退屈な日も多いかもしれませんが、遊び方を工夫したり読書をしたりして、楽しく過ごしてほしいと思います。



## 水泳指導について

6月12日（木）より水泳指導を予定しています。各学年だよりでもお伝えしていますが、日頃から体調管理に心がけ、特に水泳指導のある日には、朝の健康観察を十分に行っていただきますようよろしくお願いいたします。

**水泳カードへの記入や押印も毎回必ずお願いします。**電話での連絡では、水泳の参加はできません。先日配付しました「水泳指導のお知らせ」「水泳指導に向けてのお願い」をよく読んでいただき、ご協力をお願いします。

## ○登下校時の安全や地域での遊び方について、ご家庭でも確認を。

見守り隊のご協力で子どもたちが安全に登下校できるよう見守っていただいておりますが、地域の方からご意見等をいただくことがあります。通学路を通過して、安全に登下校ができているか、ご家庭でもお子さまと話をさせていただきますようお願いいたします。通学路を通らずに、私有地や駐車場を通ったり、車道を横断したりすることは危険です。また、遊ぶときに、お菓子などのごみをごみ箱に捨てずに散らかしたり、畑に入って遊んだりしているというご指摘も地域の方からいただいております。命を守り、安全にそして健やかに成長することができるよう、ご協力をお願いいたします。

## ○テントを寄贈していただきました！

千代田小学校の卒業生で、現在は株式会社 IRIE AUTO 代表取締役の阪口達也氏より、「子どもたちのために何か役に立つものを」とのお申し出をいただき、昨年度より相談させていただいておりました。このたび、厳しい夏の暑さの中で、運動会などの行事やその練習を行う際に、簡単に設営することができるワンタッチテントを3張寄贈していただきました。よく目立つ黄色のテントです。いろいろな場面で活用させていただこうと考えています。

このように、卒業生や地域の方々を支えていただけて教育活動を行うことができることに深く感謝しております。ありがとうございます。





## 5月のチヨスゴ (チヨダのスゴイとこ)



### 〇がっこうたんけん (1年生・2年生)

1年生と2年生が手をつないで歩いています。



2年生が「ここが校長室だよ。」と教えてくれました。



1年生の教室でふりかえりをしています。



### 〇スポーツテスト (3年生・4年生・5年生)

みんなで反復横跳びの計測中です。



1回でも多くできるように頑張っています。



「ふーー！」と息を吐きながら、身体を前に！！



### 〇プール掃除 (6年生) プールをきれいにしてくれてありがとう！！

はじめはドロドロのプールでしたが・・・。



こんなにきれいにしてくれました！



トイレや更衣室、プールサイドまでピカピカです！



**グー！ペタ！ピン！**

とっても良い姿勢で座りながら

お話を聞いている2年生です。



# 6月の行事

日	曜	主要行事	保健行事	下校時刻
1	日			
2	月	1限 おはなしのとびら《なかよし》 6限 クラブ① ぐんぐん《3年》③		123年2:50 456年3:40
3	火	児童朝会 5限 わくわく顔合わせ・遊び① 6限 World学習《3年》	心臓検診二次	1年2:50 2~6年3:40
4	水	【通常6h】 6限 委員会活動② ぐんぐん《4年》①		1~5年2:50 6年3:55
5	木	8:30 つぼみの会《5年》 234限 おはなしのとびら《3年》		12年2:50 3~6年3:40
6	金	【特別校時6h】 AM 交通安全教室		1~4・6年 2:20 5年 3:20
7	土			
8	日			
9	月	昼休み わくわく遊び② 6限 ぐんぐん《3年》④		123年2:50 456年3:40
10	火	児童朝会	13:30 歯科検診	1年2:50 2~6年3:40
11	水	【通常5h】 7:45 あいあい活動①		全学年 2:50
12	木	8:30 つぼみの会《6年》 水泳学習 開始 校外学習《4年》【狭山水みらいセンター】		12年2:50 3~6年3:40
13	金	臨海学校①《5年》		12年2:50 346年3:40 5年宿泊
14	土	【通常3h】 土曜参観 臨海学校②《5年》		1~46年 11:55 5年3:50

日	曜	主要行事	保健行事	下校時刻
15	日			
16	月	6月14日分振替休業日		
17	火	校外学習予備日《4年》		1年2:50 2~6年3:40
18	水	【通常5h】 校外学習《6年》【府立弥生文化博物館】		全学年 2:50
19	木	【B校時】		12年2:20 3~6年3:10
20	金	【B校時】		12年 2:20 3~6年3:10
21	土			
22	日			
23	月	6限 ぐんぐん《3年》⑤		123年2:50 456年3:40
24	火			1年2:50 2~6年3:40
25	水	【通常6h】 34限 卒業アルバム撮影(個人)《6年》 6限 委員会活動③ ぐんぐん《4年》②		1~5年2:50 6年3:55
26	木	8:30 つぼみの会《1年》		12年2:50 3~6年3:40
27	金			12年2:50 3~6年3:40
28	土			
29	日			
30	月	6限 ぐんぐん《3年》⑥		123年2:50 456年3:40

## 7月の主な行事

- |        |                     |        |        |
|--------|---------------------|--------|--------|
| 2日(水)  | 地区児童会               | 14日(月) | 個人懇談会② |
| 3日(木)  | 集団登校開始<br>9日まで      | 15日(火) | 個人懇談会③ |
| 4日(金)  | 6年非行防止教室            | 16日(水) | 個人懇談会④ |
| 10日(木) | 短縮授業開始 4時間<br>連合児童会 | 18日(金) | 終業式    |
| 11日(金) | 個人懇談会①              |        |        |





# 校長室だより

## 行事を通じて学ぶこと

一学期のはじめにはさまざまな保健行事が行われます。内科検診や歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、そして心臓検診と目白押しです。内科や歯科については毎年全校児童が受診しますので会場に行ったらすぐに「はい、診察」とはなりません。じっと待つ時間が出てきます。もちろん、内科検診はドクターが聴診器で音を聞いているので、静かに待つ必要があります。待っているとついお話をしている児童が出てきます。そこで静かにするように指導することになります。これも一つの学びです。また診察してもらったら「ありがとうございました」の一声があることによってボランティアで来てくださっているドクターも温かい気持ちになってくれるはず。また遠足でバスを使うときにも乗り降りするときに運転手さんに「お願いします」「ありがとうございました」と自然に言うことができる子どもに育てたいと思っています。そのためには、その一声で相手はどう思うのかを考える力が必要になります。

## 人のためになる行動は「人の気持ちを考える」力につながります

先日の児童朝会でお話したことです。まず8時30分に運動場に集まっているみんなが「人のためになる行動をしている」という話の後、なぜ私が「人のためになることをしましょう」と四月から言っているのかについて話しました。困って泣いている低学年の人を見かけたらどうしますか？という話題から、その人のために何かしてあげようとするときに「なぜ泣いているんだろう」「何に困っているのか」とその人の立場になって気持ちを考えるはず。そして人のためになる行動は、自己有用感が高まり、自己肯定感も高まっていくと言われていきます。自分の考えとは違う、別の人の考えを知ることが多様で、多角的な視点を持つことになり、自分の気持ちの持ちようも変わってきます。自分がとてもはずかしいと思っていることでも、近くの友達の声を聞くと、意外とそうでもないことがわかることもあります。友達の声や考えを聞くことが、自分のことを客観的にみることに繋がります。

そして人のためになる行動は、自己有用感が高まり、自己肯定感も高まっていくと言われていきます。自分の考えとは違う、別の人の考えを知ることが多様で、多角的な視点を持つことになり、自分の気持ちの持ちようも変わってきます。自分がとてもはずかしいと思っていることでも、近くの友達の声を聞くと、意外とそうでもないことがわかることもあります。友達の声や考えを聞くことが、自分のことを客観的にみることに繋がります。

## 「気持ちをきりかえる」力をつけるために

学校教育の目的は「気持ちをきりかえる力をつけるため」だと言いたくなるくらい大切な力だと思っています。子どもは気持ちの切り替えが上手くできない場合が多くあります。幼児期の子どもはイヤなときにはだだをこねて、泣きじゃくります。そして一定の時間を超えると落ち着くことができます。この時間が早い人は、きりかえる力があると考えられます。

きりかえが苦手な人は長い間、一つのことにこだわってしまって、何も活動できない状況になってしまいます。土日の前後の平日に家庭の都合でお休みをしてお出かけをしておいて、その後、登校をしびってしまう子どもも少なくありません。それはきりかえの苦手さが出ているのだらうと思います。このような子どもにとっては毎日安定した生活リズムにしてあげることこそが必要になってきます。

子どもたちはさまざまな活動や課題に対して、「めんどくさい」と思っているようです。宿題や授業、さまざまな活動でそう思うのですが、中には給食を食べることもめんどくさいと思う人がいます。私たち大人はめんどくさくても、仕事にもいくし、家事も行って、きりかえる力がついています。子どもたちにもめんどくさくても、取り組もうとするきりかえる力をしっかりつけさせてあげたいと思っています。